

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成28年度技術情報第13号(ウリ科野菜のアシビロヘリカメムシ) について (送付)

このことについて情報を取りまとめましたので送付します。今後の発生に注意してください。

平成28年度技術情報第13号

- 1 農作物名** ウリ科野菜 (ニガウリ, キュウリ, カボチャ等)
- 2 病害虫名** アシビロヘリカメムシ *Leptoglossus australis* Fabricius
- 3 発生確認および発生状況**

平成28年7月11日, 日置市吹上町の露地ニガウリ栽培ほ場において本種成虫の発生があり, その後, 鹿児島市, 南さつま市, 日置市, 薩摩川内市, 出水市, さつま町の露地ニガウリ栽培ほ場で発生がみられている。

本種は奄美大島以南に分布するとされているが, 平成12年に指宿市, 平成24年には種子島で採集された記録がある。

ウリ科野菜, 特にニガウリを好んで吸汁加害し, 被害を受けた果実は, 吸収部や果実全体が硬化して食用に適さなくなる (図2)。
- 4 形態および生態の特徴**
 - (1) 体長17~25mm, 体は黒色で, 下面には多数の橙色斑がある。前胸背は中央前方に三日月型をした橙色の帯があり, 側角は鋭くとがる。後脚は長大で脛節が葉状に広がっている (図1)。
 - (2) 奄美大島以南の南西諸島および東洋の熱帯, 亜熱帯に広く分布し, 平成16年に長崎県, 平成25年に東京都でも確認されている。
 - (3) 寄主植物として, ニガウリ, キュウリ, ヘチマ, カボチャなどのウリ類やグワバ, パッションフルーツ, ミカン類, サツマイモ, トマト, キャベツなどに寄生した記録がある。
- 5 防除対策**
 - (1) ウリ科野菜ではカメムシ類で適用のある登録薬剤があるので, 発生を認めたら早期に防除する (表1)。
 - (2) 発生が少ない時は捕殺等による除去も効果的である。
- 6 参考文献等**
 - (1) 友国雅章 日本原色カメムシ図鑑 (1993) 全国農村教育協会:pp. 201, 289



図1 アシビロヘリカメムシ（成虫）



図2 ニガウリに蝟集する成虫と幼虫（大原賢二氏提供）

表1 ニガウリでカメムシ類に登録がある農薬

農薬名	希釈倍数	使用回数	使用時期
アディオソ乳剤	2000～ 3000倍	3回以内	収穫前日まで
トレボン乳剤	1000倍	3回以内	収穫前日まで